

# 番組審議委員会 議事録 (2023年3月)

開催月 2023年3月

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面審議にて実施

番組審議委員

委員総数 7名

出席委員6名

尾上恵子、加藤昭宏、杉本尚美、谷口庄一、服部宙史、平林哲也（敬称略）

## ①「サルーテラジオ～全ての人に美しい健康を～」

ご意見・ご感想

・スポンサー番組による放送、今回は雑談で「コンビニ」がテーマ。日々の生活が豊かに送れるライフスタイルの提案がテーマの番組で、5万軒あるコンビニのうちの最大手、2万軒あるセブンイレブンの歴史の紹介は、興味深く感じた。セブンプレミアム等の商品の詳細についても紹介があり、面白いと思った。環境に優しい商品や様々なこだわり商品の紹介も興味がそそられた。可能なら、一宮市内にあるセブンイレブンについても少し触れてもらえると市内のリスナーとしてはより関心が湧くのではと思った。

・コンビニあるあるの話はそれはそれで構わないのですが、番組テーマである「健康」に紐づけた話題だと良かったと思います。(病院経営とは紐づけられていましたが)おでんを取り上げてカロリーやたんぱく質などの話や糖質制限のスイーツなどが話題に上がりましたが、こうすればもっと糖質が少なく、たんぱく質をとれることができるランチの選択方法などのおすすめがあれば良かったと思います。また、薬などを購入する際の注意点なども聞いてみたかったです。話のスピードなどは聞きやすいと思いました。開業医やクリニックがコンビニの倍の数があるとは知りませんでした。

・特に審議すべき事項はないかと思います。とても素敵な声で、また分かりやすいお話の仕方もあり聴きやすいと思ったのが第一印象です。医療関係の方がパーソナリティをしていらっしゃるのですが、健康がテーマとされているとのことで、非常に市民の関心の高いテーマでリスナーの方への有意義な情報発信が期待できると思います。一方で、専門家の方の発信ではありますが、情報発信の内容には難しい部分があると思います。今回お聞きしたのはコンビニのよもやま話？が中心で、流し聞きにはちょうど良いかと思いましたが、少し番組名と内容にズレを感じてしまいました(内容が悪いという意味ではありません。コンビニと医療機関とリンクさせて後半話されていましたが、途中から聞いた方には伝わりにくいと思ったまでです)。最初にお話しされる方の紹介があったのですが、折角なので途中でも紹介されると良いのではと思いました。

・進行が少々素人っぽいですが、内容(カテゴリー)が専門分野なので気にはならなかった。コンビニ情報はそれとして聴けば面白かったが、それが健康にどう結びつくかと疑問が残った。(お題をきにしなければ特に問題ないかと思います)今のままだとネタが尽きてしまいそうなので、どう展開して健康に近づいていくのか興味深いです。

・コンビニエンスストアと私生活での関わり合いのなかから食べ物話題を持ち出し、セブンイレブン誕生からの歴史に繋げて現在のセブンイレブンの方向性を持ち出してリスナーがききやすいように構成されてとても分かりやすいと思います。そして最後にセブンイレブンのモットーと番組提供側のモットーを一致させ、ラジオの聞かせる強みが上手く演出され番組提供側のイメージアップに繋がったと思いました。

・リスナーの誰もが利用する「コンビニ」テーマに進行しているので、自身の利用経験を思い浮かべながら聴くことができた。「コンビニ」の歴史(アメリカで始まり、現在の日本の状況)は、リスナーにとっては興味を持てたのではないかと思う。「セブンイレブン」の経営理念の話が興味深かった。医療につなげて話を進行したが、どの業種についても示唆に富んだ内容であり、リスナーすべてに役立つのではないか。パーソナリティと院長の落ち着いた話しぶりは、大変聴きやすく、内容も理解しやすかった。

## ②「ラジオ御用聞き 高田院長の「なんでもきいてちょ！」」

### ご意見・ご感想

・鳩山さんの声が非常に聞きやすかったです。

・後遺症をなるべくなくすためのリハビリの専門分野や対象者の年齢の幅、リハビリを開始する基準等、高齢者やその家族にとって分かり易い話で聞きたくなる話だった。

・大雄会の紹介のなかで、教習所とタッグを組んだ取り組み等、斬新で有意義な情報、面白かった。

・一宮を代表する医療機関の大雄会の高田院長が中心となるこの番組は、地域密着という点、医療という誰もが関心をもつ点においても、FMいちのみやにふさわしい番組だと思う。

・リハビリテーションには理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が存在することは知っていましたが、それぞれどのようなことをやっているかはよく理解していなかったのですが、このラジオでよく理解できました。事例なども分かりやすかったので、番組の目的に沿ったものだったと思います。病気の治療が終わってからではなく、手術前からリハビリを行うことは知りませんでした。大雄会病院のリハビリテーション体制が理解できてよかったです。

・特に審議すべき事項はないかと思います。①で述べたのと同様に、健康はとても関心の高いテーマなので、専門家を呼んでリスナーさんの気になる部分を回答されるというのは、リスナーにとっても有意義な情報が提供されると思いました。話の内容も分かりやすいと思いました。リハビリについて知らないことが多かったのですが、とても理解が深まる内容だと思いました。随所で大雄会病院の取り組みを知ることができ、それが宣伝になるだけでなく、市民として安心につながるとも思いました。

・少しぎこちないが、許容範囲(医療関係者なので)。市長メッセージを思い出しました。ゆっくり聴いていれば“タメになる“番組だと思います。車で聴き流すより、家で家事をしながら聴くタイプなのでそうした層をターゲットにした今の時間帯設定は適切だと思います。

・大雄会の提供番組のメリットを生かして高齢化社会には必要なツールとして医療の話題を身の丈に合わせた番組だと思います。今回はリハビリについて勤務しているセラピストが事例を交えて話していてわかりやすいと思います。更に、リスナーが聞きたいこと、相談したいことを投稿等で聞き出して分かりやすく説明されたり、大雄会だけでは解決できない時は大雄会とかかわる方が説明されれば大雄会の知名度も上がり、興味をもつリスナーがみえると思います。

・パーソナリティ(高田院長)・アシスタント(鳩山)、リハビリテーション科(川本)の話がテンポよく進み、聴きやすい番組であった。リハビリテーション科の説明の中に、「リハビリは手術前から始める」とあった。初めて聞く話で驚いたが、早期対応についての説明に合点がいき、納得できた。こういった話は、リスナーにとっても有益だと思う。若干、「大雄会」の他病院との差別化が気になった。他病院も含めた現在の医療全般の方向性を示す、という語り口がほしかったようにも思う。